

# 令和4年度包括外部監査の監査テーマについて

## 1 包括外部監査の実施

- ◇ 地方自治法に基づき、毎年度中核市の義務として、包括外部監査人が必要と認めるテーマを選択し、実施するもの
- ◇ R4年3月議会において包括外部監査契約の締結について議決を経て、今年度の契約を締結

## 2 包括外部監査人

むつだ まさひこ

- ◇ **陸田 雅彦 公認会計士** (R2、R3年度に続き3回目)

所属事務所 : 有限責任監査法人トーマツ 長野事務所

### 3 監査テーマ

---

行政DXを見据えた、業務に関連する法令・マニュアル等  
内部統制の状況及び今後のあるべき姿について

### 4 監査テーマの設定理由（要約）

---

地方公共団体では、限られた行政資源を活用し、合理的な運営を図るよう、業務に関連する条例・規則など具体的な手続としていわゆる内部統制が用いられている。

一方、長野市では、市民の利便性向上のため行政手続のデジタル化を見据え、押印廃止等の取組を進めており、時代の変化を踏まえた行政手続の見直しを図ることは重要である。

こうしたことから、内部統制の状況及び今後のあるべき姿について、**法令等の遵守、最小の経費で最大の効果を挙げる観点から検討することは、長野市の行財政運営にとって有益であると判断し、当該事件を監査テーマとして選定したもの**

## 5 今後の予定

年 月	内 容
令和4年6月 ～ 11月	関係する法令、条例、規則等の確認 関係課への質問及び聴取
12月	報告書ドラフト版（原案）作成
令和5年1月	最終報告書完成
2月	市長への報告（結果報告書の提出） 市議会、監査委員等へ結果報告書の提出

### <各部局へのお願い>

包括外部監査は、行政手続のデジタル化の現状やデジタル化を見据えた契約・支払業務の効率化の観点から、総務部、財政部、会計局を中心に進められるものと想定していますが、**市全体の業務が監査の対象となりますので、担当業務が該当した際にはご協力をお願いします。**